

【事業内容】

1. 事業実施の概要

孤独・孤立の予防的観点から、多様な居場所や日常生活環境における緩やかな「つながり」づくりの担い手である地域の小規模NPOが持続發展的に活動できる環境整備を目指し、以下①～⑥の事業を、大阪府と兵庫県をまたぐ生活圈域「北摂」(※1)において、当会を含む中間支援組織7団体(※2)が連携し実施した。

- ①小規模NPOへの伴走チーム派遣
- ②NPOの基盤強化に資するスキルアップ講座
- ③居場所や緩やかなつながりづくりの実践交流会
- ④分野・専門性を超えた市民活動支援組織研修とネットワーキング
- ⑤地域の小規模NPOによる緩やかなつながりづくりの実態調査
- ⑥孤独・孤立問題やNPOの役割に関する発信

(対象地域) ※1

- ・大阪府：池田市、茨木市、吹田市、摂津市、高槻市、豊中市、箕面市、豊能町、島本町、能勢町
- ・兵庫県：伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、猪名川町

(中間支援組織連携による実施体制) ※2

- ・NPO法人市民ネットすいた(申請者/事務局)
- ・NPO法人トアエル
- ・特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット
- ・高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会
- ・特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク
- ・特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
- ・特定非営利活動法人場とつながりの研究センター

(対象者)

- ・北摂を活動範囲とする小規模NPO(活動分野は限定しない)
- ・つながりづくり・居場所づくり等に関心のある地域住民
- ・市民活動支援組織・特定分野の市民活動ネットワーク組織(分野は問わない)

2. 具体的な取組内容

事業①小規模NPOへの伴走チーム派遣

伴走先団体を選定し、それぞれの状況と課題に応じてヒアリング、ケース検討会議を実施し、基盤強化支援を行った。伴走支援は、複数の中間支援組織による混合チームを編成し、チーム担当制で取り組んだ。各チームの進捗をSNSツールで常時共有しながら、より効果的な支援につなげるよう努めた。事業期間終盤には伴走先団体に振り返りインタビューを行い、伴走支援の成果をチームにフィードバックした。

- ・ トーキョーコーヒー箕面（不登校支援、箕面市）
- ・ チーム竹未来（環境保全、豊中市）
- ・ 特定非営利活動法人スポイの会（多文化共生、池田市）
- ・ 特定非営利活動法人友-友（高齢者支援、吹田市）
- ・ こらぼれひろば（子育て支援、吹田市）

事業②NPOの基盤強化に資するスキルアップ講座

NPOの基盤強化に資するテーマの講座を実施した。

- ・ 市民公益活動団体のための Canva 講座
- ・ とともに学ぼう！市民公益活動団体のための合理的配慮

事業③居場所や緩やかなつながりづくりの実践交流会

居場所づくり、社会的処方などに関心のある団体、個人、事業者などを対象にした実践交流会として「せつつ居場所サミット」を開催した。基調講演のほか、「こども」「高齢者」「多文化共生」「事業者×地域貢献」の4分科会を設け、実践者の交流を図ったほか、当日までの企画・準備に多様な市民公益活動実践者が関わった。

事業④分野・専門性を超えた市民活動支援組織研修とネットワーキング

分野を超えた支援組織のネットワーク形成を念頭に、以下の2団体に対し人材育成の課題についてヒアリングを行った。

- ・ とよなか国際交流センター（指定管理者：公益財団法人とよなか国際交流協会）
- ・ 東り いたみホール（伊丹市立文化会館）（指定管理者：いたみ文化・スポーツ財団）

2. 具体的な取組内容（続き）

上記ヒアリングで抽出した課題にもとづき、支援者向け研修会を実施した。

- ・北摂中間支援連携企画「これからを考える市民団体のための政策コミュニケーション」
- ・宮崎県三股町発「コミュニティデザインラボ」から学ぶタテ割りを超えた地域共生社会のつくりかた

事業⑤NPOによる緩やかなつながりづくりの実態調査

緩やかなつながりづくりに資する活動を行うNPOを選定し、当該NPOの活動に参加する住民を対象に聞き取りによる調査を行い、参加や継続につながると思われる活動の特徴やNPOの工夫に関して整理を行った。

- ・千里バロック合奏団（芸術）
- ・池田郷土史学会（学術、まちづくり）
- ・吹田野鳥の会（環境保全）

上記調査に関しては、中間支援組織メンバーによる仮説設定ワークショップを実施し調査項目を設定した。また「社会的処方」の観点から専門家による助言を適宜得ながら実施した。

事業⑥孤独・孤立問題やNPOの役割に関する発信

事業全般について専用WEBサイト上で随時、活動状況を報告した。また、地域の孤独・孤立対策の機運醸成につながるよう報告書を作成した。

3. 事業の目標に関する客観的な指標の達成状況及びその評価

事業①小規模NPOへの伴走チーム派遣

(事業の目標)

小規模NPOの変化のプロセスや伴走支援のPDCAサイクルの可視化

(客観的指標)

伴走支援団体：5団体

PDCAモデル蓄積：5事例

事業②NPOの基盤強化に資するスキルアップ講座

(事業の目標)

小規模NPOの悩みや困り事の整理、あるいは資源や強みの確認などを通じた運営基盤強化支援

(客観的指標)

講座開催：2回

参加者：計50人

事業③「居場所」や「つながり」づくりの実践交流会

(事業の目標)

行政区域を超えた担い手のネットワーク構築と、新たな担い手発掘及び育成

(客観的指標)

交流会：1回

参加者：65人

居場所づくり実践者による事前の企画準備会議：14回、延べ95人

事業④分野・専門性を超えた市民活動支援組織研修とネットワーキング

(事業の目標)

支援組織の支援力向上や人材育成のための課題整理、支援者同士の関係性の構築

(客観的指標)

ヒアリング実施：2団体

講座開催：2回

講座参加者：計55人

講座参加者の属性：NPO支援組織、テーマ型支援組織（多文化共生）、行政、社会福祉協議会、教育関係者、NPO

3. 事業の目標に関する客観的な指標の達成状況及びその評価（続き）

事業⑤NPOによる緩やかなつながりづくりの実態調査

（事業の目標）

福祉分野に限定しない多様なNPOによる緩やかなつながりづくりの事例の蓄積と可視化

（客観的指標）

調査実施：3団体

調査項目設定のためのワークショップ：1回、12人参加

事業⑥孤独・孤立問題やNPOの役割に関する発信

（事業の目標）

孤独・孤立対策におけるNPOの役割の可視化及び地域における機運醸成

（客観的指標）

WEBサイト等による発信：11回

報告書作成・配布：700部